

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2021. 5. 17

下水道機構の『新技術情報』 第455号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

今年の梅雨は、2週間程度早くなるようです。

先日も報道にあったように、1951年の統計開始以来、四国が1番早く梅雨入りをし、九州や中国では2番目に早い梅雨入りだそうです。

マスクをつけた上に、湿気が多くなりますので新型コロナと同じように熱中症にもお気を付けください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第455号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第396回技術サロンを6月10日にZoomウェビナーで開催します！

■機構の行事予定

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・外を眺めていて感じたこと
(電線マンさんからの投稿です)

■ピックアップ！機構情報

- ・新研究テーマの紹介
(下水道施設の耐水化計画策定手順等に関する共同研究)
(分流式下水道における雨天時浸入水の調査技術に関する共同研究)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・5/17付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●緊急事態宣言発出に関する下水道機構の対応について

緊急事態宣言延長に伴い5月12日から5月31日までの間、下水道機構では原則在宅勤務となります。

つきましては、電話連絡等で連絡がつきづらくなる事が予想されますので、下水道機構ホームページなどを参考にして、お急ぎでない場合はメールでご連絡ください。

。○○。

機構の行事予定

。○○。

●第 396 回技術サロンを開催します！

日 時：令和 3 年 6 月 10 日(木) 16:00~17:00

場 所：Zoom ウェビナー

講演者：日本下水道事業団

事業統括部事業課 課長 山本 哲雄氏

関東・北陸総合事務所 施工管理課 主幹 森弘 吉祥氏

テーマ：長野県千曲川流域下水道下流処理区終末処理場（クリーンピア千曲）災害復旧支援について

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon396>

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●外を眺めていて感じたこと

（電線マンさんからの投稿です）

在宅での時間が長くなり、普段より身体を動かさなくなった方もおられるかと思いません。

私の家の前の電柱に雀の巣があります。

この巣は、電柱に取り付けられた街灯用の分電盤の中で、下についている配線用の小さな穴から、親鳥が出入りをし、中では小雀がピーピーと親が戻るのを待ちかね、親が帰るとエサを持ってきたのでしょうか、巣の中はさらに大騒ぎとなります。

自然界の動物たちは、この雀のように一日中子供に与えるエサを探しては巣に戻るということを繰り返し、食べていくための活動と睡眠のみで一生を終えてしまうのでしょうか。

一方、人間は狩猟から農耕へと進化する中で、取って食べるから育てて食べる、さらに分業等により、一日を生きていくための労働だけでなく、余暇も楽しめる生き方をしています。

余暇を持てる生活が当たり前となっている人間は、仕事一辺倒では生きていけないものとなっているのではないかと、ふと、雀の巣を見て、感慨にふけていました。

ということで、コロナの勢いも中々収まりませんが、感染リスクを避けて、余暇を楽しんで、この苦難の時期を乗り越えましょう。

。○○。

ピックアップ！機構情報

（下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021.1 冬季号の中から記事をご紹介します）

。○○。

●新研究テーマの紹介

（下水道施設の耐水化計画策定手順等に関する共同研究）

令和元年東日本台風や令和 2 年 7 月豪雨などにおいて、下水道施設そのものが被災し、市民生活に多大な影響を及ぼす事象が相次いで発生しています。

こうした中、国土交通省に設置された「気候変動を踏まえた都市浸水対策に関する検討会」においてまとめられた提言では、リスクの高い下水道施設について、「耐水化計画」

を令和3年度までに策定することが地方公共団体に求められています。

一方、これまで耐水化計画策定や対策立案等に特化して技術的・体系的にまとめられた手引書等はなく、実務においては不統一で手探りの作業となることが懸念されています。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-05-17-quarterly1>

●新研究テーマの紹介

(分流式下水道における雨天時浸入水の調査技術に関する共同研究)

近年、多発する豪雨等により、分流式下水道の汚水管路で浸入水が急激に増加する現象が多数確認されており、なかには晴天時下水量の数倍に達する例もあります。この雨天時浸入水を放置すると、現有下水道施設の処理能力を超える場合があり、下水道処理施設の機能低下のみならず、宅内トイレへの逆流、マンホールからの溢水などの重大な問題を引き起こします。

また、令和元年度に国土交通省が実施したアンケート調査では、分流処理区を抱える半数以上の地方公共団体が維持管理（人孔からの溢水等）についての問題意識を持っており、全国的な課題となっています。また、実態把握のための詳細調査の実績がある地方公共団体は、33%程度に留まっているのが現状です。

このような状況の中で、令和2年1月に国土交通省が策定した「雨天時浸入水対策ガイドライン（案）」では、直接浸入水は発生源対策により浸入を防止すること、雨天時浸入地下水は発生源対策により浸入を最小限に留めることが明記されました。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-05-17-quarterly2>

下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021. 1（最新刊）

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly32>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 19号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter19>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○○。

はしわたし（みなさまの情報交流の場です）

。○○。

＼(^-^)/皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

国からの情報

。○○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

下水道ホットインフォメーション（2021. 5. 17 の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

6都府県に発出されている新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言について
16日より、北海道・岡山・広島県が対象地域へ追加されました。

下水道事業者の皆様におかれては、重ね重ねのお願いで恐縮ですが、
下水道の業種別ガイドライン※を踏まえ、
感染予防対策を徹底の上で、業務の継続に努めていただければ幸いです。

※下水道管路・施設管理に関するガイドライン：

・下水道施設運転管理業務における新型コロナウイルス

感染予防対策ガイドライン（下水道施設管理業協会、R3. 4 改訂）

<https://www.gesui-kanrikyo.or.jp/contents/01-01news.html#20210421>

・下水道管路管理業務における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

（下水道管路管理業協会、R3. 4 改訂）

https://www.jascoma.com/topics/2020/coronavirus_disease/images/20210426/information.pdf

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ 5/11 社会資本整備審議会計画部会（次期社重点計画について）
（国土交通省）

○ 4/26 社会資本整備審議会環境部会
（「国土交通グリーンチャレンジ」等について）（国土交通省）

○ 5/11 社会資本整備審議会計画部会（次期社重点計画について）
（国土交通省）

5月11日に、第46回社会資本整備審議会計画部会が開催され、
R3年度以降の第5次社会資本整備重点計画面案
（3月31日の前回部会以降、パブコメを経た案）が審議されました。
今後、閣議決定の見込みです。

（下水道関係のKPI）

【1-1：気候変動の影響等を踏まえた流域治水等の推進】

・下水道による都市浸水対策達成率

R元年度 約 60% → R7年度 約 64%

・ハード・ソフトを組み合わせた下水道浸水対策計画策定数

R元年度 約 170 地区 → R7年度 約 200 地区

・水害時における下水処理場等の機能確保率

R元年度 0% → R8年度 100%

・最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成した団体数

R元年度 15 → R7年度 約 800

・気候変動の影響を考慮した下水道計画策定の推進

【1-2：切迫する地震・津波等の災害に対するリスクの低減】

- ・災害時における主要な管渠、下水処理場及びポンプ場の機能確保率
 (管渠) 令和元年度 約 52% → 令和7年度 約 60%
 (下水処理場) 令和元年度 約 37% → 令和7年度 約 42%
 (ポンプ場) 令和元年度 約 31% → 令和7年度 約 38%

【2-1：計画的なインフラメンテナンスの推進】

- ・下水道：計画的な点検調査に基づく下水道管路の老朽化対策を完了した延長の割合
 R 元年度 0% → R7 年度 100%
- ・下水道：適切なメンテナンスを推進するため、下水道使用料等の収入面、維持修繕費等の支出面の更なる適正化に取り組む団体数
 R2 年度 約 100 団体 → R7 年度 約 1,400 団体

【2-2：新技術の活用等によるインフラメンテナンスの高度化・効率化】

- ・下水道：管路施設のマネジメントに向けた基本情報等の電子化の割合
 R2 年度 36% → R7 年度 100%

【2-3：集約・再編等によるインフラストックの適正化】

- ・下水道：汚水処理施設の集約による広域化に取り組んだ地区数
 R 元年度 0 箇所 → R7 年度 300 箇所

【5-1：社会資本整備のデジタル化・スマート化による働き方改革・生産性向上】

- ・デジタル・トランスフォーメーション導入による下水道施設運営の最適化・高度化の推進

【6-1：グリーン社会の実現】

- ・下水道分野における温室効果ガス排出削減量
 H29 年度 210 万トン CO₂ → R7 年度 352 万トン CO₂
- ・下水道バイオマスリサイクル率
 R 元年度 33.8% → R7 年度 45%
- ・汚水処理人口普及率
 R 元年度 91.7% → R8 年度 95%
- ・良好な水環境創出のための高度処理実施率
 R 元年度 56.3% → R7 年度 65%

(会議資料等)

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/sogo08_sg_000287.html

※社会資本整備重点計画・・・社会資本整備重点計画法（平成 15 年法律第 20 号）に基づき、道路、交通安全施設、鉄道、空港、港湾、航路標識、公園・緑地、下水道、河川、砂防、地すべり、急傾斜地及び海岸等の社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に推進するために策定する計画。

第 4 次計画は平成 27 年度～平成 32 年度の期間で策定。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei_point_tk_000003.html

(注) 地球温暖化対策計画（平成 28 年 5 月 13 日閣議決定）における目標に基づき設定したものについて、同計画に変更があった場合には、この指標も同様に変更されたものとみなすこととされています。

○ 4/26 社会資本整備審議会環境部会

(「国土交通グリーンチャレンジ」等について) (国土交通省)

4 月 26 日に、社会資本整備審議会環境部会が開催され、グリーン社会の実現に向けた「国土交通グリーンチャレンジ」(骨子案)等について審議されています。

6 月 1 日の次回グリーン社会 WG にて、とりまとめに向けた審議が予定されています。

(会議資料)

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/sogo10_sg_000158.html

※資料 2-3 骨子案 下水道関係

2 (1) 省エネ・再エネ拡大等につながるスマートで

強靱なくらしとまちづくり

- ・ 下水汚泥/バイオマス等の利用推進に向けた革新的技術の導入促進、
広域的・効率的な汚泥利用の推進、下水熱利用の推進

(2) グリーンインフラを活用した自然共生地域づくり

- ・ 流域治水関連法案を通じた雨水貯留・浸透機能を有する
グリーンインフラの活用推進

【参考情報】

- ◆ 下水でコロナ検査 感染者、効率的に把握—島津製作所

<5/13 時事通信>

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2021051301381&g=eco>

- ◆ 再生可能エネルギー割合 30%台後半まで引き上げで調整 経産省

<5/15 NHK>

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210515/k10013032281000.html>

- ◆ 下水汚泥を固形燃料化、大分市が施設整備 24年の稼働目指す

<5/13 大分合同新聞>

<https://www.oita-press.co.jp/1010000000/2021/05/13/JD0060246406>

- ◆ 高須浄化センターでの消化ガス発電事業が4月1日から始まりました。

<4/26 高知県>

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/171801/2021041500012.html>

- ◆ 「鉄腕アトム」から「はじめの一步」まで！ 今、都内のマンホールが熱すぎる

<5/15 アーバン ライフ メトロ>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/72ab5ec615175e5374b726a778308b5014feb2ae?page=1>

- ◆ 楽しくて頼もしい存在に 防災拠点としての道の駅「但馬のまほろば」

「ようか但馬蔵」<5/12 ラジトピ ラジオ関西トピックス>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d94d939903915feb415edb586d803efa7e2aac42>

- ◆ 新宿・歌舞伎町に新マンホール 足元にも「ゴジラ」出現!?

<5/12 FNN プライムオンライン>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f0d452a585b383a3422f200509ef922008e087e4>

- ◆ プラごみ資源収集、助成条件に 市区町村の焼却場整備 環境省

<5/14 時事通信>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8cd1a28d3226f1e3a606b1ccc67c138502dc5012>

- ◆ 田んぼダム遠隔化 排水栓の地域一斉開閉 実証へ 農水省

<5/14 日本農業新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/554827207ef1d5465fc8c93c8fe859751c6ac527>

- ◆ 農水省、環境負荷軽減へ新戦略 50年、有機農業面積40倍

<5/12 時事通信>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/52ee03d2fbaea64e229be7042cbefc84d3eef62a>

◆ 中国で計 130 市が節水都市に

〈5/15 CGTN Japanese〉

<https://news.yahoo.co.jp/articles/58707dd372a08274e6bede9d18a5b91f6f7c3885>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>